

2015年10月16日

株式会社インプレスR&D

<http://nextpublishing.jp/>

コカ・コーラ、ローソン、NTT など計8つのケースを収録

大前研一総合監修

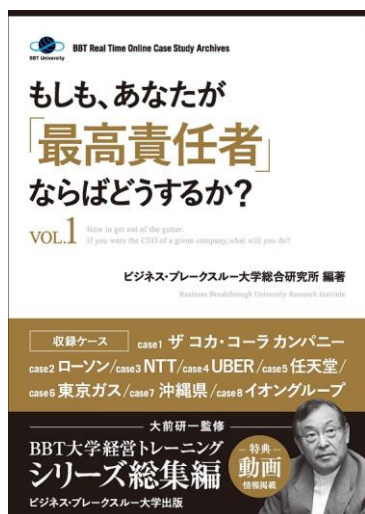
『もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか?』

正解のない“今”の課題を考える実践型経営トレーニングが書籍となって登場!

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信）と、オンデマンド出版 good.book を運営する株式会社 masterpeace（本社：東京都港区、代表取締役社長：磯部純一）は、次世代型出版メソッド「NextPublishing」を使った電子・印刷書籍のハイブリッド出版事業として、ビジネス・ブレークスルー大学（BBT 大学）出版シリーズ『もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか? Vol.1』（監修：大前研一）を発行しました。

『もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか? Vol.1』

[http://g10book.jp/book/info/release/rtocs\\_archive1](http://g10book.jp/book/info/release/rtocs_archive1)



監修：大前研一

編著：ビジネス・ブレークスルー大学総合研究所

小売希望価格：電子書籍版 1200 円（税別）／印刷書籍版 1800 円（税別）

電子書籍版フォーマット：EPUB3／Kindle Format8

印刷書籍版仕様：B5 判／モノクロ／本文 174 ページ

ISBN：978-4-907554-38-5

発行：masterpeace

## <<内容紹介>>

※本書はビジネス・ブレイクスルー大学出版「BBT リアルタイム・オンライン・ケーススタディ (Vol.1～4)」をまとめて収録したシリーズ総集編です。

「正解のない今の課題」をケースとして、自分自身が「経営者、リーダーであったらどうするか」を考察する——BBT 大学の実践型経営トレーニング書籍化シリーズ、総集編がついに登場。

●本シリーズでは、経営コンサルタント大前研一氏が学長として率いるビジネス・ブレイクスルー大学提供のケーススタディプログラムを書籍化。毎号、大前氏および BBT 大学総合研究所によるケーススタディ解説を収録します。

●BBT 大学では、毎週、学内プログラムとして「Real Time Online Case Study (リアルタイム・オンライン・ケーススタディ=略称 RTOCS®)」という名でケーススタディを提供しています。その内容は、国内外の企業/政府を題材に、まだ答えの出していない「今起きている課題」をケースとして設定するもの。学内では、学生間で 1 週間のディスカッションを経た上で、学長である大前氏が 1 つの課題解決案を提示しています。

●多くの起業家を送り出す BBT 大学の代表的なプログラムを追体験できる本シリーズは、実践型経営トレーニングとして、学生・社会人の立場によらず、経営を志すすべての人にお勧めできます。

※「RTOCS」は、株式会社ビジネス・ブレイクスルーの商標または登録商標です。

## <<収録ケーススタディ>>

収録ケースはすべて「あなたが●●の責任者ならばどうするか?」という質問形式をとります。

まさに今、問題に直面している企業/政府責任者の立場となり、課題解決を考えることが「実践型経営トレーニング」の所以です。

もしも、あなたが

- ・The Coca-Cola Company の CEO ならば
- ・ローソンの社長ならば
- ・NTT の社長ならば
- ・UBER の CEO ならば
- ・任天堂の社長ならば
- ・東京ガスの社長ならば
- ・沖縄県知事ならば
- ・イオングループ CEO ならば

今、何を決断しますか?

## <<総集編特典>>

総集編発行を記念して、巻末には限定公開動画情報を掲載。

大前氏自身による「CaseStudy/あなたが Coca-Cola Company CEO ならばどうするか?」の解説動画を含む 4 本の動画情報を掲載しています。

## <<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア: <http://www.amazon.co.jp/gp/product/B016MEBAC4/>

楽天 kobo イーブックストア: <http://books.rakuten.co.jp/e-book/>

Apple iBookstore: <http://www.apple.com/jp/apps/ibooks/>

紀伊國屋書店 Kinopyy: <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/indexp.html>

Google Play Store: <https://play.google.com/store/books/>

honto 電子書籍ストア: <http://honto.jp/ebook.html>

#### 印刷書籍

Amazon.co.jp: <http://www.amazon.co.jp/gp/product/4907554389/>

三省堂書店オンデマンド: <http://item.rakuten.co.jp/books-sanseido/c/0000000517/>

honto ネットストア: <http://honto.jp/netstore.html>

ウェブの書齋オンデマンド本 楽天市場店: <http://www.rakuten.co.jp/shosai/>

楽天ブックス: <http://books.rakuten.co.jp/event/book/store/pod/>

※各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※一般書店店頭では販売しておりません。

お取り扱いを希望される書店ご担当者様は、後述のお問い合わせ先までご連絡ください。

#### <<編著者紹介:ビジネス・ブレイクスルー大学総合研究所>>

ビジネス・ブレイクスルー大学総合研究所(BBT 大学総研)は、ビジネス・ブレイクスルー大学の研究機関として、刻々と変化する経営環境のその時々「ベストソリューション」を導き出すべく、企業経営者やビジネスリーダーにとって重要な経営課題、国内外の経済社会動向などにフォーカスした調査・分析・研究を行っています。その研究結果はビジネス・ブレイクスルー提供の各種プログラムの主要コンテンツとして用いられ、提言・立案などにも活用されています。

#### <<監修者紹介:大前 研一>>

1943年、福岡県若松市(現北九州市若松区)生まれ。早稲田大学理工学部卒業。東京工業大学大学院原子核工学科で修士号、マサチューセッツ工科大学大学院原子力工学科で博士号を取得。経営コンサルティング会社マッキンゼー&カンパニー日本社長、本社ディレクター、常務会メンバー、アジア太平洋地区会長等を歴任。94年退社。96～97年スタンフォード大学客員教授。97年にカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院公共政策学部教授に就任。現在、株式会社ビジネス・ブレイクスルー代表取締役社長。オーストラリアのボンド大学の評議員(Trustee)兼教授。また、起業家育成の第一人者として、05年4月にビジネス・ブレイクスルー大学大学院を設立、学長に就任。2010年4月にはビジネス・ブレイクスルー大学が開学、学長に就任。02年9月に中国遼寧省および天津市の経済顧問に、また10年には重慶の経済顧問に就任。04年3月、韓国・梨花大学国際大学院名誉教授に就任。『新・国富論』、『新・大前研一レポート』等の著作で一貫して日本の改革を訴え続ける。

#### 【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

インプレス R&D は、NextPublishing メソッドを活用した次世代型出版事業を推進する企業です。

#### 【株式会社 masterpeace】 <http://g10book.jp/>

オンデマンド出版ソリューション: good.book(グーテンブック)の運営およびサービス提供。デジタルメディアの企画、制作、販売を事業ドメインとし、デジタルマーケティングを活用したクロスメディア事業を展開しています。

#### 【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主

要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

**【お問い合わせ先】**

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)

株式会社 masterpeace

〒107-0062 東京都港区南青山 4-15-5

TEL 03-5770-5869

電子メール: [contact@masterpeace.co.jp](mailto:contact@masterpeace.co.jp)

担当: 窪田、磯部